

## 第83回水道事業審議会 質疑等

日 時 令和8年5月21日（木）  
14時～15時30分  
場 所 岡山市水道局 三野浄水場  
見学者ホール

### ■次期経営計画の概要、現状及び課題について

- ・ 水道事業の現況や施設概要に記載されている指標を政令市と比較しているが、それがどのように計画に活かされているのか。また、技術の継承について、どのような取組をされているのか。  
⇒ 政令市との比較は、各種指標の参考値として活用している。技術継承については、局が所有する水道技術研修所において様々な実技研修を毎年実施することで、技術の継承を図っている。今後は、DXなどの新しい技術も取り入れながら、業務の効率化を進めていきたい。
- ・ 二酸化炭素排出削減のための取組は。  
⇒ 水道事業は浄水処理や送水の際に多くの電力を使用するため、化石燃料によらない電力の購入などの取組を進めている。
- ・ 水需要が減少していることへの対策は。  
⇒ 施設の更新の際には、将来の水需要を踏まえた施設規模の適正化を図っている。
- ・ 全国で水道管の漏水事故をよく目にするが、漏水を未然に防ぐ対策は実施しているか。  
⇒ 市内全域を4年で一巡するよう毎年漏水調査を実施している。また、橋に添架している水道管については、ドローンを活用した点検を行うなどの取組も進めている。引き続き、新たな技術については、試行や研修などを通じて研究を続けていきたい。
- ・ 物価や資材価格が高騰してインフレが進んでいる中で、耐震化を早く進めていくためには、企業債の借入を増やしてでも工事を前倒しして実施していくことが重要ではないか。  
⇒ 水道局においても物価や資材価格、人件費の高騰による影響を受けている。経営計画の策定にあたっては、企業債の借入水準についても検討していきたい。

- ・ 岡山市の水道水はおいしいと言われるが、何か秘訣があるのか。  
⇒ 塩素臭が強いとおいしくないと感じられるため、季節によって塩素の注入量を調整するなど、お客さまにおいしさを感じていただけるような取組を行っている。

#### ■三野浄水場更新工事について

- ・ 質疑なし